※令和３年度以前入学生用

１　国語

学校番号	T2101

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ａ	単位数	２	年次	１～４
使用教科書	「現代文Ａ」（三省堂）						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ

・「現代文Ａ」では、様々な文章を「読む」能力の向上を期待します。日本語・日本文化に対する興味・関心を持ち、生涯にわたって読書に親しんでいけるようになることをめざします。
・朗読はそれ自体が評価の対象となる活動ですから、できるだけ大きな声で読みましょう。漢字が読めないことや、まちがえることを恥じる必要はありません。
・創作活動、ペアワークなど、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。また、必要に応じて、スライドや映像教材等も使用します。
・黒板での学習が中心になります。板書は各自のノートに書き写しをしてもらいます。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２ 学習の到達目標

・近代以降の文章を読み、表現を味わい、語句の理解を深めることができる。ふりがな無しで文章を読むことができる。
・読書を通じて、ものの見方、感じ方、考え方を読み取り、考察することができる。
・近代以降の言語文化についての課題を探究し、理解を深めることができる。我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。
・生涯にわたって読書に親しむ態度を育んでいる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	書き手や登場人物の生き様やストーリーを通じて、我が国の言語文化についての関心を深め、その特質を理解する。			評論、小説、随想、翻訳作品など様々なジャンルの文章を読み、読書への関心を深める。ふりがな無しの本文を読む。	我が国の言語文化と国語の特質を理解し、語彙を増やし、幅広い知識と教養を身につけている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート）			記述の確認及び分析（ノート） 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート）定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期は実施しない									
後期	求めるものに応えてくれる	教材： 「求めるものに応えてくれる」	○			◎	○	a:「本を読むこと」の意味について、筆者の語りかけを通じて考えようとする。筆者の生き様に関心を持つ。 d:文章の内容を理解し、筆者の主張を読み取る。 e:主な常用漢字について使い方を理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e： 記述の確認と分析及び定期考査
	夢十夜	教材： 「夢十夜」	○			◎	○	a:人物、情景、心情など、作者の描写の特徴をとらえ、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:主な常用漢字の使い方を理解している。また、近代に特有の文章の形態や文体の特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e： 記述の点検と分析及び定期考査
	山月記	教材： 「山月記」	○			◎	○	a:小説の話の展開のおもしろさを理解しようとしている。。 d:自己を物語ることにより、主人公が自己を見つめ、変貌していく姿を捉えている。 e:小説の緊密に計算された構成について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e： 記述の確認と分析及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。